

やったこと、やれなかったこと、やらなかったこと  
—対照言語学と言語教育—

国際言語文化研究科 日本言語文化専攻 日本語教育学講座  
教養教育院言語文化部門

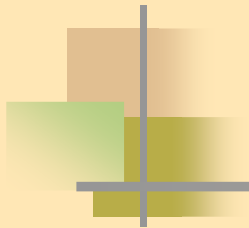
小坂光一















# 1. やったこと



- やり通した(と自負できる)こと
  - 「ドイツ語総合コース」(25年?)
  - 『ことばの科学』の発行(20年)
  - 「南ドイツ研修」(足掛け20年、正味18年)
  
- とにかく一応やったこと
  - 対照言語学



# 「南ドイツ研修」全10回

- **目的**: 学生がドイツ語の授業で勉強したことを現地でさらに発展させ、実際にドイツ語を使ってみること、ドイツ文化に直に触れること
- **期間**: 1989年夏から2007年夏まで(隔年)
- **場所**: 南ドイツのBad Waldsee
- **企画・実行**: K. von Heuduck, B. Doldi、小坂(十現地のドイツ人)

# 実施期間と参加者数

- 第1回目 1989年夏(7月8日—8月7日) 参加者26名
- 第2回目 1991年夏(7月12日—8月12日) 参加者33名
- 第3回目 1993年夏(7月8日—8月9日) 参加者30名
- 第4回目 1995年夏(7月22日—8月21日) 参加者24名
- 第5回目 1997年夏(7月19日—8月18日) 参加者16名
- 第6回目 1999年夏(7月24日—8月25日) 参加者19名
- 第7回目 2001年夏(8月3日—9月4日) 参加者20名
- 第8回目 2003年夏(8月1日—8月29日) 参加者14名
- 第9回目 2005年夏(8月6日—9月2日) 参加者15名
- 第10回目 2007年夏(8月9日—9月5日) 参加者24名











# 見えない部分を理論的に再構築

正確さ

スピード(効率的)





Part No. 2305530  
Record Length 129 Bytes  
Diskette No.  
**IBM  
Diskette 1**  
U.S. Patent No. 3668158

**3M**  
MD 20  
5.25" 5.25"  
1.2 MB

MITSUMI  
CHEMICAL  
**MF2HD**  
Macintosh  
INDEX  
7



# ドイツ文字

- **A a O o U u B** (ラテン文字)
- **Ä ä Ö ö Ü ü ß** (ドイツ文字)

# ~の(です)か？

- Haben Sie Geld ?
- 持っている あなた お金を か
- (お金ありますか)

- Haben Sie denn Geld ?
- 持っている あなた お金を の(です)か
- (お金あるんですか)



# ～ない(なかった)でしょうか

- Haben Sie einen weißen Hund gesehen?
- ~た あなた 一匹の白い犬を 見(る) か
- (白い犬を見ましたか)

- Haben Sie **zufällig** einen weißen Hund gesehen?
- ~た あなた 一匹の白い犬を 見(る)

～ない(なかった)でしょうか

- (白い犬を見ませんでしたか / 見なかったでしょうか)

# (まさか)～じゃないだろうね

- Hast du das Fenster offen gelassen ?
- ~た あなた 窓を 開いた ままにしておく か
- (窓を開けてきましたか)

- Hast du etwa das Fenster offen gelassen ?
- ~た あなた 窓を 開いた ままにしておく

- (まさか)～ない(なかった)だろうね
- (まさか窓を開けたままにして来なかったでしょうね)



# 心態詞を2つ使えば

- Hast du **denn etwa** das Fenster offen gelassen ?
- ~た あなた 窓を 開いた ままにしておく

■ (まさか) ~ない(なかった)だろうね

の(です)か

(まさか窓を開けっ放しにして来た**の**ではないでしょうね)

# ～よね

- Haben Sie nichts vergessen?

- ~た あなた 無を 忘れ(る) か

- (忘れ物はありませんか)

- Haben Sie auch nichts vergessen ?

- ~た あなた 無を 忘れ(る)

～よね

- (忘れ物はありませんよね)

# まとめ

- Haben Sie meinen Hund gesehen?
  - 私の犬を見ましたか。
- Haben Sie **zufällig** meinen Hund gesehen?
  - 私の犬を見ませんでしたか／見なかったでしょうか。
- Haben Sie **denn** meinen Hund gesehen?
  - 私の犬を見たんですか。
- Haben Sie **etwa** meinen Hund gesehen?
  - (まさか)私の犬を見なかったでしょうね。
  - 私の犬を見でもしましたか。
- Haben Sie **auch** meinen Hund gesehen?
  - 私の犬を見ましたよね。





# 動作動詞句と状態動詞句

---

- 博論を書く—動作動詞句—動的
- 博論を書いている—状態動詞句—静的
- ([書いている]が動作として扱われない理由は希薄)

# 「発生・成立」と「存在」

- 動作であるか状態であるかとは関係なく
- **[発生・成立]**は**動的**（動作動詞句の扱いを受ける）
- **[存在]**は**静的**（状態動詞句の扱いを受ける）

# 動作の[発生・成立]と動作の[存在]

(動作動詞の場合)

- [博論を書く]
  - (被観察時における)動作の[発生・成立]
  - ⇒動的
  
- [博論を書いている]
  - (被観察時における)動作の[存在]
  - ⇒静的(→状態動詞句の扱いを受ける)



# 状態の[発生]と状態の[存在]

- [静かになる]
- (被観察時における)状態の[発生]
- ⇒動的 (→動作動詞句の扱いを受ける)
  
- [静かだ]
- (被観察時における)状態の[存在]
- ⇒静的

„Stehen Sie nicht vor mir!“ 「私の前に立つな！」



# [立つ]の意味

- 起立(動作の[発生・成立])
- [立っている]状態になる(状態の[発生])
  
- Stehen Sie nicht vor mir!
- 私の前で立っているな！私の前で立っていないでくれ！
- ↓
- [私の前で立っている]状態になるな！[私の前で立っていない]状態になれ！
- ↓
- 私の前に立つな！私の前に立たないでくれ！





## そびえる

---

- [そびえる]がなくて、[そびえている]のみが存在—第四種の動詞
- 目の前にいきなり山がそびえた。
- ↑
- いきなり[目の前に山がそびえている]状態になった

## 困った現象

- (インストールの)完了中
- (プログラムの)終了中
  
- 「完了」、「終了」などを術語として使用してきたが、術語を変える必要が生じた。
- ことばは「生き物」。「環境」と共に変化する。



## 2. やれなかったこと

---

- たくさんあるが、1つの例のみ示す。



## 「に」と「へ」

---

- 明日ドイツに行きます。
- 明日ドイツへ行きます。

# 互換性がない

- 私はいずれ日本語教師**に**なります。
- \*私はいずれ日本語教師**へ**なります。
  
- これを論文**に**する。
- \*これを論文**へ**する。

# 「助詞」か「用言の活用」か？

- あたりは急に静か**に**なった。(状態の発生)
- あたりは今静か**だ**。(状態の存在)
  
- 彼女は日本語教師**に**なった。(状態の発生)
- 彼女は今日本語教師**だ**。(状態の存在)

# 「だ」、「なり」の活用

	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
形容動詞 ダ型活用	だろ	だっ で に	だ	な	なら	
形容動詞 ナリ活用	なら	なり に	なり	なる	なれ	なれ
助動詞 だ	だろ	だっ で	だ	な	なら	
助動詞 なり	なら	なり に	なり	なる	なれ	なれ



## アイヌ語との対照

---

- 日本語の用言は接続活用する(人称変化はない)
- アイヌ語の動詞は人称変化をする(接続活用はない)
- しかし、主語が3人称の場合は活用接辞がつかない。



# アイヌ語の「に」、「で」、「だ」

(アイヌ語の例は『CDエクスプレスアイヌ語』(白水社)から)

- citatap ne a=kar pe ne.  
■ チタタブ に する もの だ  
■ (チタタブにするものだ) (主語3人称につき、助詞か動詞か不明)
- sinen ne k=an ruwe ne.  
■ 1人 で いる の だ  
■ (私は1人で暮らしています／いました) (主語1人称)
- ku=sitoma korka sinen ne ku=hosipi.  
■ 恐れる けど 1人 で 帰る／帰った  
■ (怖い／恐かったけど、1人で帰る／帰った) (主語1人称)

# アイヌ語：用言としての「で」

■ tun ci=ne wa paye=as kusu ne na.

■ 2人 だ て 行く から だ よ  
■ で

■ (ぼくたち2人で行くよ)(主語1人称複数)

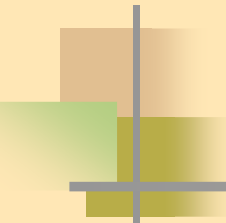
■ hawe ne yakun inen a=ne wa ipe=an etokus ruwe ne.

■ そう だ ば 4人 だ て 食事する ことになる の だ  
■ ならば で

■ (それでは4人で食事することになるわけだ)(主語1人称複数)

# なぜやれなかったか？

- 日本語には人称変化がなく、接続変化であるから、歴史的に調べても、「に」の形しか現れないだろう（「で」は「にて」から発生したと言われている）。
- 私の興味は歴史的なことではなく、現代人の「黒い箱」の中の構造（の構築）である。
- アイヌ語には人称変化がある。「ne」が昔はすべて人称接辞と共に用いられていたことが判明すれば結論は出る。しかしアイヌ語には文字がない。古代のアイヌ語を知る方法がない。
- 現代のアイヌ語を調査するとすればフィールドワークの必要が生じる。アイヌ語を話す人がほとんどいない。話せる人であっても話さない（社会的問題）。地域も限られている。私の力では不可能。
- アイヌ語と日本語は別言語だから、例えアイヌ語に関して調査できたとしても日本語の構造が証明されたことにはならない。



## 3. やらなかつたこと

---

- 言語教育関係の研究面

## 関口存男（NHKラジオ講座）

- ……。人がぺらぺらと言ったら、その通りぺらぺらと言える。意味がわからなくても。そういう練習をしますと、それが一番よろしいんです。……。もう意味なんてことはその次です。その次の次の次です。……



# 意味形態と意味(1)

- 関口存男(1960)S. 24
- 水に方円無し、器に方円あるのみ。器の方円を称して意味形態と呼んでもよいではないか。

## 意味形態と意味(2)

- 関口存男(1960)S. 24
- 意味形態は ... (中略) ... それなくしてはそもそも意味というものを結び得ず、言語というものを成し得ない所の主観的形式である ...

## 中味より外見

- 人はまず、外見(入れ物)で中味を判断する。
- ワインのボトルに入っているものがワインでない可能性は十分ある。
- しかし、通常は入れ物がワインボトルであれば中味がワインだと判断する。
- 中味より外見が重要。

# 言語学習

- 意味の分析ではなく、意味形態の構築。言語は中味(=意味)の入っている容器である。
- 私の授業
  - 予習するな
  - 辞書を引くな
  - 日本語に訳すな

# ドイツ語の学習の場合は

- **意味**
- [あの素晴らしかった日々を思い出させるな]／[あの素晴らしかった日々を思い出させないでくれ]
- **意味形態**
- [Erinnere mich nicht an die schönen Tagen]



# 歌と歌詞

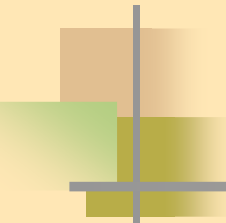
- 『浦島太郎』
- 帰って見れば 怖い蟹
- (←「帰ってみれば こは如何に」)
  
- 『赤蜻蛉』
- 追われてみたのは いつの日か
- (←「負われて見たのは いつの日か」)

# 蛍の光

- 蛍の光 窓の雪
- 書読む月日 重ねつつ
- いつしか年も 過ぎ(杉)の戸を
- 明(開)けてぞ今朝は 別れ行く
  
- とまるも行くも 限りとて
- 互(かたみ)に思う 千万(ちよろず)の
- 心のはしを ひとことに
- 幸(さき)くとばかり 歌うなり

# なぜやらなかったか

- 見解の正しさを証明するのはむずかしい。
- 私の興味は習得理論ではなく、実践。
- 学習の目的は「ドイツ語ができるようになること」の1点。授業の目的は「そうなるように仕向けること」。授業は単なる1つの手段に過ぎない。
- 私の行動はそのような目的のための行動であり、それ（のみ）に時間を使ったかった。理論、調査、実験など、研究のために費やす時間が惜しかった。一方、「南ドイツ研修」のようなこと（実践）に費やす時間は惜しいと思わなかった。



# 自分自身のための教授法

---

- 尺八法(民謡尺八)
- 長所(時間をあまり必要としない)
- 短所(ソウルでの経験)